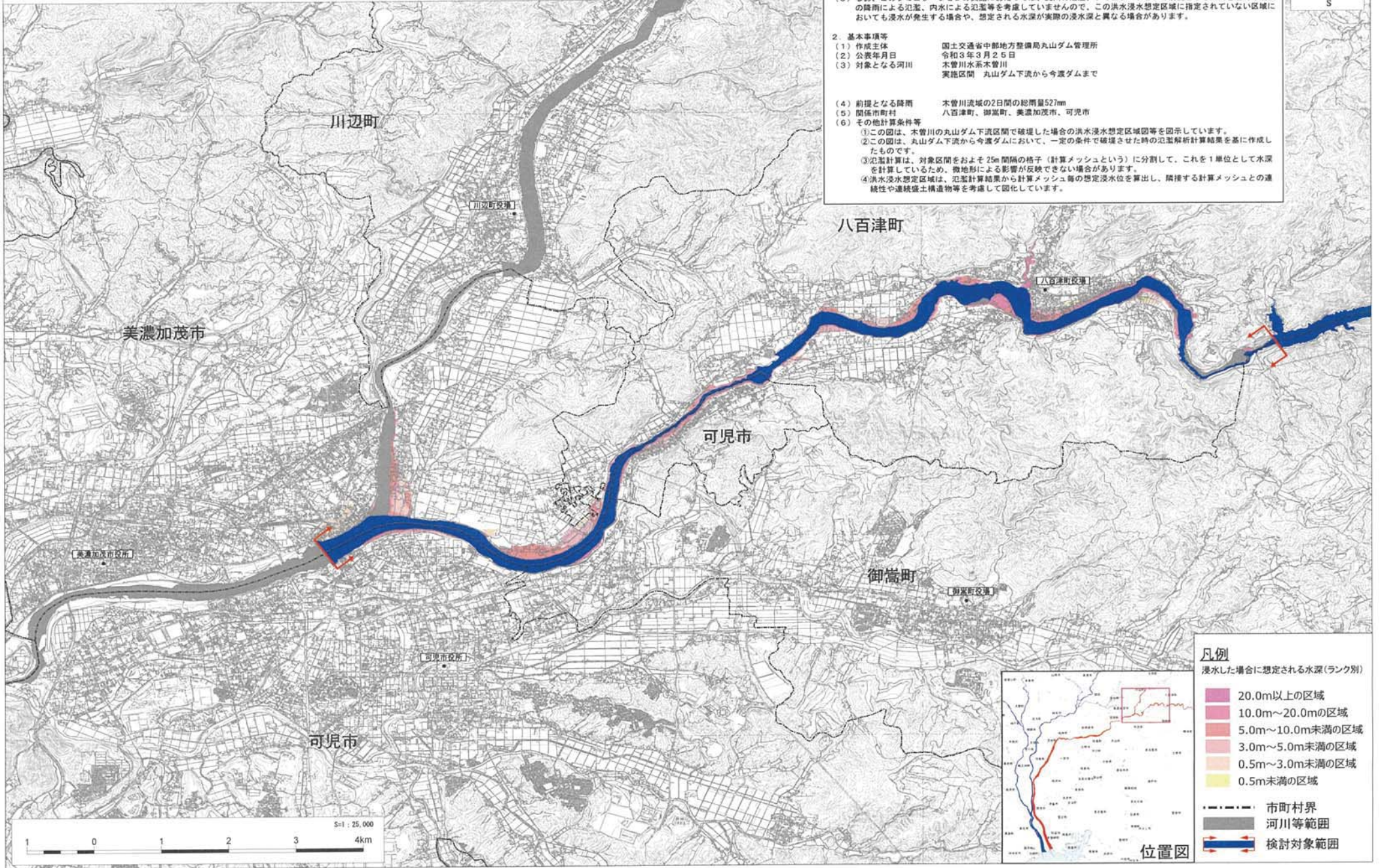




木曽川水系木曽川丸山ダム下流洪水浸水想定区域図 (想定最大規模) 全体版



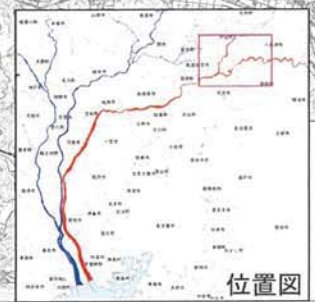
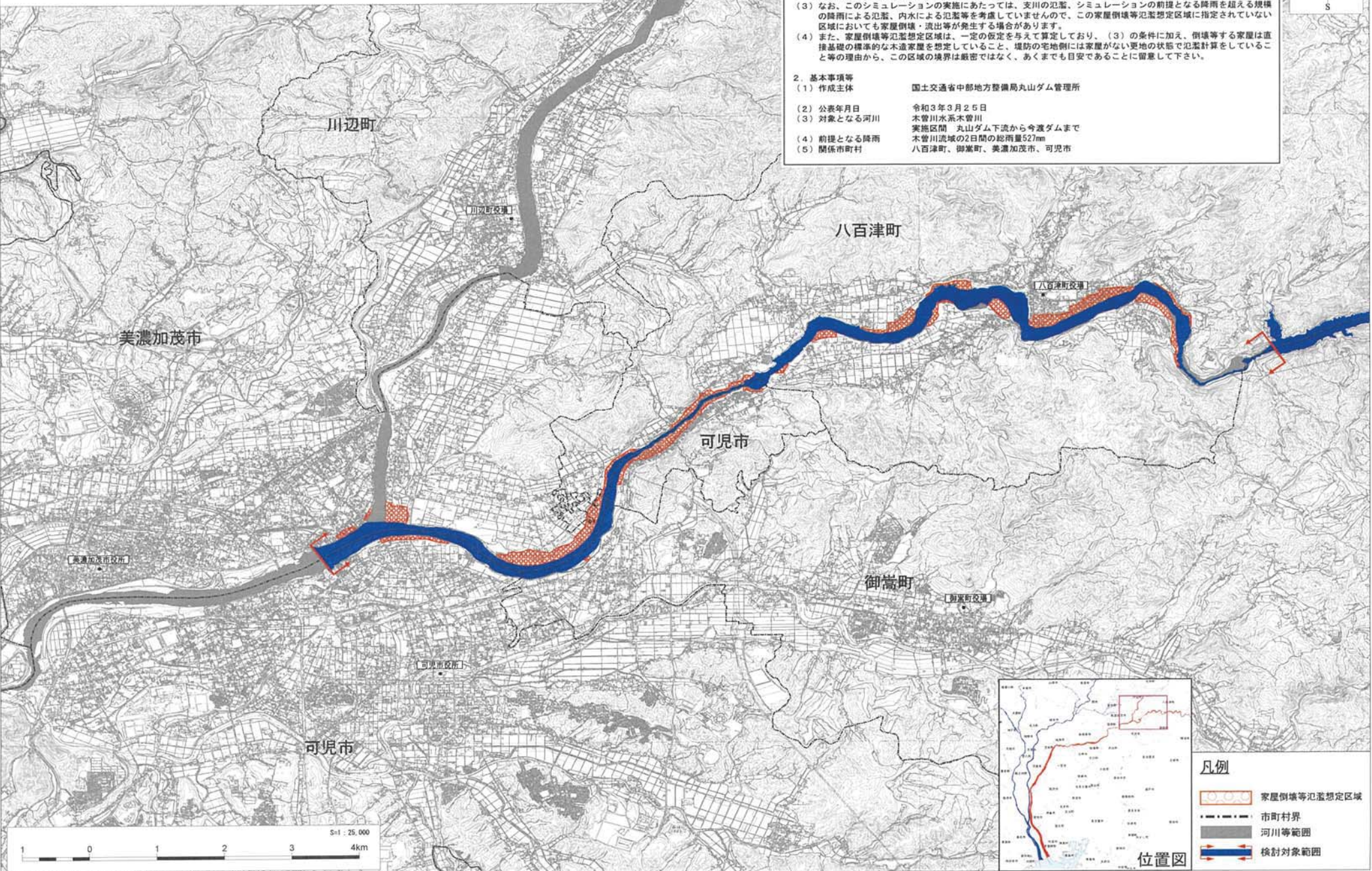
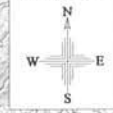
- 1 説明文**
- (1) この図は、木曽川水系木曽川の丸山ダム下流区間について、想定し得る最大規模の降雨による浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 - (2) この洪水浸水想定区域図は、木曽川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により木曽川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- 2. 基本事項等**
- (1) 作成主体 国土交通省中部地方整備局丸山ダム管理所
 - (2) 公表年月日 令和3年3月25日
 - (3) 対象となる河川 木曽川水系木曽川
実施区間 丸山ダム下流から今渡ダムまで
 - (4) 前提となる降雨 木曽川流域の2日間の総雨量527mm
 - (5) 関係市町村 八百津町、御嵩町、美濃加茂市、可児市
 - (6) その他計算条件等
 - ①この図は、木曽川の丸山ダム下流区間で破壊した場合の洪水浸水想定区域図等を図示しています。
 - ②この図は、丸山ダム下流から今渡ダムにおいて、一定の条件で破壊された時の氾濫解析計算結果を基に作成したものです。
 - ③氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。
 - ④洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物等を考慮して図化しています。

- 凡例**
- 浸水した場合に想定される水深(ランク別)
- 20.0m以上の区域
 - 10.0m～20.0mの区域
 - 5.0m～10.0m未満の区域
 - 3.0m～5.0m未満の区域
 - 0.5m～3.0m未満の区域
 - 0.5m未満の区域
- 市町村界
 - 河川等範囲
 - 検討対象範囲

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行基礎地図情報を使用した。(承認番号 令2情使、第 号)」

木曾川水系木曾川丸山ダム下流洪水浸水想定区域図 (家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)) 全体版

- 1 説明文
- (1) この図は、木曾川水系木曾川の丸山ダム下流区間について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)を表示した図面です。
 - (2) この家屋倒壊等氾濫想定区域は、木曾川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により木曾川が氾濫した場合の氾濫流の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に指定されていない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。
 - (4) また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、一定の仮定を与えて算定しており、(3)の条件に加え、倒壊等する家屋は直接基礎の標準的な木造家屋を想定していること、堤防の宅地側には家屋がない更地の状態で氾濫計算をしていること等の理由から、この区域の境界は厳密ではなく、あくまでも目安であることに留意して下さい。
2. 基本事項等
- | | |
|-------------|---------------------------------|
| (1) 作成主体 | 国土交通省中部地方整備局丸山ダム管理所 |
| (2) 公表年月日 | 令和3年3月25日 |
| (3) 対象となる河川 | 木曾川水系木曾川
実施区間 丸山ダム下流から今違ダムまで |
| (4) 前提となる降雨 | 木曾川流域の2日間の総雨量527mm |
| (5) 関係市町村 | 八百津町、御嵩町、美濃加茂市、可児市 |

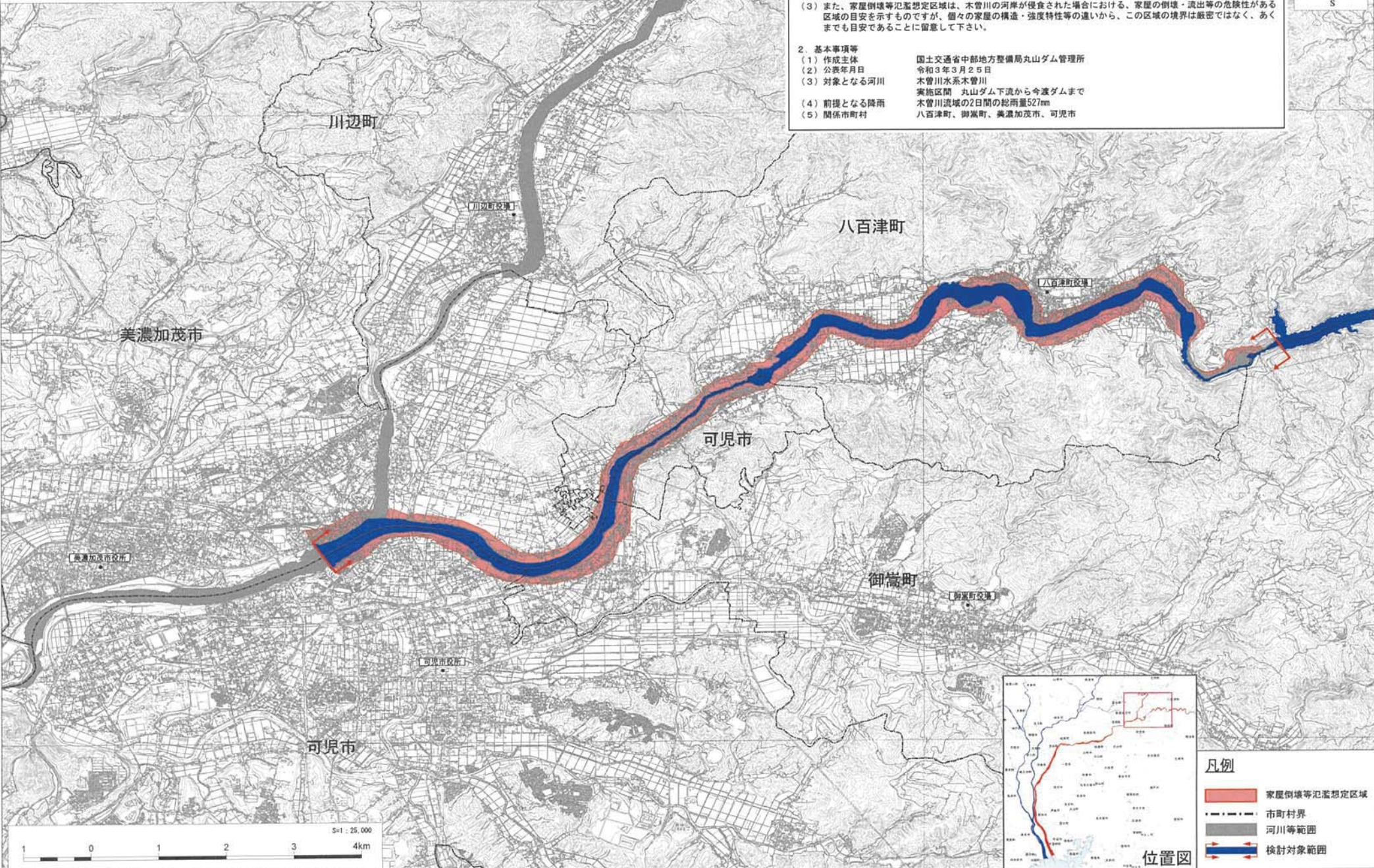


- 凡例
- 家屋倒壊等氾濫想定区域
 - 市町村界
 - 河川等範囲
 - 検討対象範囲

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行基礎地図情報を使用した。(承認番号 令2情使、第 号)」

木曾川水系木曾川丸山ダム下流洪水浸水想定区域図 (家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)) 全体版

- 1 説明文
- (1) この図は、木曾川水系木曾川の丸山ダム下流区間について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)を表示した図面です。
 - (2) この家屋倒壊等氾濫想定区域は、木曾川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により木曾川の河岸の侵食幅を予測したものです。
 - (3) また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、木曾川の河岸が侵食された場合における、家屋の倒壊・流出等の危険性がある区域の目安を示すもので、個々の家屋の構造・強度特性等の違いから、この区域の境界は厳密ではなく、あくまでも目安であることに留意して下さい。
2. 基本事項等
- | | |
|-------------|---|
| (1) 作成主体 | 国土交通省中部地方整備局丸山ダム管理所 |
| (2) 公表年月日 | 令和3年3月25日 |
| (3) 対象となる河川 | 木曾川水系木曾川 |
| (4) 前提となる降雨 | 実施区間 丸山ダム下流から今渡ダムまで
木曾川流域の2日間の総雨量527mm |
| (5) 関係市町村 | 八百津町、御嵩町、美濃加茂市、可児市 |



「この地図は、国土院院長の承認を得て、同院発行基盤地図情報を使用した。(承認番号 令2情使、第 号)」